

京林大だより

No.64



絵：卒業生 熊走君

就業に向けたキャップストーン研修を実施



京都府内外の事業体で、伐倒・機械操作など様々な実務研修を受ける林大生

長期研修を体験して、実際に自分が就業して働くイメージができた。

研修後の 学生の声

今まで体験できないような仕事を知ることができた。

伐倒以外の接客やイベントの準備について学ぶことができた。

林業のやり方や利益の出し方、他事業体とのつながりなど勉強になった。

安全第一から作業の速さまで、とても参考になった。

林大のキャップストーン研修は、学校での体験が難しい実践的な能力の養成と、実社会への適応力の向上のため、2年生が府内外の事業体（1人当たり2カ所）に行き、各1ヶ月間の実習を受ける研修のことをいいます。

本年は、府内外の23事業体（森林組合、民間林業事業体、製材所、NPO法人など）にお世話になり、各事業体の方々の御指導のもと、様々な実務作業や社会人としての規範等を学ぶことができました。

学生たちは、研修先での様々な体験の中で、自ら課題を見だし、就業を前に、その改善に向けて決意を新たにしているところです。

また、研修で得られた多くのことを1年生に伝えるため、報告会を開催し、次年度以降の研修参加に向けて意識の醸成を行いました。

研修生を受け入れていただきました事業体の皆様におかれましては、大変お世話になり、本当にありがとうございました。



報告会の様子

「第7回林大祭」 のお知らせ

林大生が企画し、地域や林業関係者の皆様と親睦を深めることを目的に「第7回林大祭」を開催します。

森のアトラクションや薪割り体験など、お子様にも楽しんでいただける催しがたくさんあります。

ぜひ、ご家族で林業大学校へお越しください。

〈第7回林大祭〉

テーマ「あつまれ！林大の森」

○日時：令和4年12月4日（日）10時～16時

○場所：京都府立林業大学校 構内

○内容：模擬店、クリスマスリースづくり(有料)
木を使ったブランコ、木工品の販売 など



木を使ったブランコ



クリスマスリースづくり

今月の授業参観

『森林作業道作設実習1』

10月に1年生が5名ずつ3つのグループに分かれて行う「三行脈型濃密実習」に取り組みました。この実習は少人数で行うことで、学生一人一人がより濃く学ぶことを目的としています。

そのうちの1つが「森林作業道作設実習1」です。府民の森ひよしの一角に積み上げた土を5人の学生がバックホウ2台を順番に操作することで、軽トラが上っていけるような作業道に仕上げしていきます。最初は操作に慣れない学生たちも、4日間の実習を通じてメキメキと上達していきます。

2年生になって実際に山に道をつけるのが楽しみです。



校長室より

創立10周年記念行事を開催！

校長 柴田 繁

京都府立林業大学校は、本年4月に創立10周年を迎えたことを記念して、11月12日(土)に創立10周年記念行事（式典・講演等）を、和知ふれあいセンター他で開催しました。

当日は、畠中京丹波町長や樋口地域連携協議会長（森林組合長）をはじめ、地元や京都府内外の森林・林業・木材産業関係者等、170名を超える方々にご臨席いただき、10周年をお祝いしていただきました。

記念行事の一環で作成しました記念誌や、式典で披露しました10周年の歩み（映像）の制作を通して、開校から今日までを振り返りますと、改めて、本校が10周年を迎えることができましたのも、京丹波町や地元自治会、京丹波森林組合等、多くの関係者の皆様のご支援とご協力のお陰と痛感しております。

林業大学校の開校を、地域の皆様から歓迎していただき、開校式では、地元の皆様方が、和知の伝統芸能である和知太鼓や小畑万歳等で式典を盛り上げていただき、お祝いの餅つきやうどんの振る舞いで、緊張した学生の心とお腹を満たしてくださいました。

学校運営に当たりましては、京丹波町や地域の森林所有者の方から、伐採や刈払い、作業道開設等の実習地の提供や町有住宅や空家等の学生の住まいを斡旋していただき、京丹波森林組合には、高性能林業機械の操作実習指導やキャブストーン研修の受け入れ等、地域挙げて学校運営と学生生活を支えてくださいました。

創立10周年を契機として、これからも京都府の森林・林業を担う人材の育成に、一層取り組んでまいりますので、引き続き皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



記念式典の様子